

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
- 連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
電話 03(3849)1188
FAX 03(3849)7001
- 印刷 足立区大谷田就労支援センター
法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成21年度第3回評議員会・理事会報告

・平成21年度第3回評議員会・理事会

開催日 平成22年3月16日(火)

評議員会 午前10時～12時

理事会 午後12時5分～13時50分

開催場所 足立あかしあ園 3階会議室

議案

第1号議案 平成21年度補正予算(案)について

第2号議案 平成22年度事業計画(案)・予算(案)について

第3号議案 定款変更および諸規定の制定・改正について

第4号議案 第9期理事・監事等役員の選任について

第5号議案 第5期苦情解決第三者委員の選任について

第6号議案 谷中施設工事入札価格の決定について

(入札手続き)

第7号議案 谷中施設工事業者決定について

今年度最後の理事会・評議員会も無事に終了いたしました。平成22年度の事業計画・予算、次期役員選任等の重要な議案について熱心にご審議いただき、全ての議案が承認されました。

法人として初の取り組みとなる地域支援型多目的施設・あいのわ支援センター谷中(仮称)の建設に伴う工事業者も決定し、平成22年度下期の開設を目指していよいよ着工の運びとなりました。

利用者の皆さんの高齢化も進んでおり、法人の果すべき役割にも、多様な対応が求められています。関係者の皆さまの引き続いてのご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

一般就労に向けた取り組み

足立区大谷田就労支援センターでは、今年度より新事業体系の就労移行支援事業を開始し、法人として初めての経験である、障がいがある人たちの一般就労を目指した訓練事業に取り組んできました。

初年度ではありますが、就労継続支援B型事業に在籍しながら一般企業への就労に挑戦した、1名の方の就職が実現しました。また、就労移行支援事業室に在籍しているお1人の方もトライアル雇用に入っており、トライアル雇用終了後の採用が予定されています。まさに、春よこい!の心境です。さらに、B型の1名の方が、3月末からのトライアル雇用が決定しました。

思えばこの1年間、在宅の方、新しく特別支援学校を卒業された方、就労継続支援B型事業から移籍した方と共に、職員も手探り状態のスタートでした。朝の朝礼や他部署への訪問、電話応対等のビジネスマナーの習得や生活訓練を経て、履歴書の書き方、面接訓練等に取り組み、個々人の希望に合わせた企業面談、企業実習等の就職活動を何回となく重ねてきました。

空前の不況下でもあり、中には何十社も面接した方もありますが、利用者・職員とも諦めることなく、黙々と挑戦してきた証であると大変にうれしく思っています。また、地元のハローワークやあしすと等、関係者の皆様のご支援があつたればこそと感謝申し上げます。

しかし、ご本人が強く希望したにも関わらず、一般就労に結びついていない方も数名いらっしゃいます。今後も引き続き想いを共有し、共に就職活動に取り組んでいきたいと思えます。

4月には、他の施設や就労継続支援B型事業に移られる方がおられ、就労移行支援事業室に在籍される利用者の方も大きく変わりますが、この1年間の経験を糧に、新しく入所される皆さんとともに、次の年度も楽しい挑戦を続けていきたいと思っています。

足立あかしあ園だより

梅の香りと共に春の訪れを感じられる今日この頃ですが、折角の春もスギの花粉がづらい方もいらつしやると思っています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度も残り少なくなっています。が、春の陽気に誘われて、足立あかしあ園では各グループで外出活動が行われています。先日、2月12日にはAグループのみんなが新三郷の「ららぽーと」まで行ってきました。当日は朝から雪も降っていたので寒い1日でしたが、たくさんさんのボランティアさんに御協力いただいて、バスに乗っていざ出発。フードコートで自分の食べたいものをお腹いっぱい食べたり、おしゃれなお店での買い物をしたり、もう少しじっくり見て回りたいぐらいでした。それでも皆さんそれぞれが楽しんでくることが出来ました。

3月12日にはBグループのみんながお台場に外出の予定です。Cグループでは3月に親子親睦会や大学の音楽サークルの方々が来てくれてアカペラの音楽会があります。他にも年度末恒例の「昼食バイキング」が予定されていたり、楽しいことが目白押しです。みんなが楽しい思い出の1ページが出来るといいなと思っています。

何かと忙しい時期ではありますが、利用者のみんなも職員も体調には十分気を付けていきたいと思えます。来年度もどうぞよろしくお願い致します。

(塩田)

綾瀬あかしあ園だより

早いもので、今年度も残りわずかとなりました。振り返ればあつという間の1年でしたが、色々と考えさせられる事が多かったように思います。「地域生活の充実を」というテーマができていますが、根本のところは、本人の思いがあつてこそ。限られた福祉サービスの中で一体何が出来るのかを、私たちは問われています。一歩ずつでも前進できるように、次年度も「みんな、ほっと、いっしょに、いきいきと」を目指して綾瀬あかしあ園として取り組んでいきたいと思っています。



今年度の最後の全体行事が2月中旬に行われました。恒例の

(?) 風船バレー大会で、熱い

あついバトルが繰り広げられました。バレンタインにちなんで秘密兵器もたくさん用意され、大いに武器を活用したにこにこグループが見事に優勝!



利用者、職員共にイキイキとしながら楽しんでいる姿をみて、この一瞬一瞬を大事にしていく事が、これからにつながっていくのかと思います。

次年度も、全員一丸となつて明るく楽しく元気に過ごしていきたいと思えます。宜しくお願い致します。(森)

竹の塚あかしあのだきずな(生活介護入所)だより

初雪も降り、寒い日が続いていますが、段々と心地よい風に変わり、春めいてまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか?

きずなでは、先日「豆まき」が行われ、「鬼にボールをあてる!!」というゲームを行いました。新聞紙を丸め、豆に見立てた玉入れの様なゲームです。2階3階合同でのイベントで多くの笑顔が見うけられました。対抗

戦という事もあり、皆様熱くなられていた様に思えます。今後

も合同での行事をできるだけ行

なつていき、2階3階の方が交流をもてる様に

していきたいと思

います。

健康・衛生面

では、利用者、

支援員共にイン

フルエンザの予

防接種を終え、

最近では体調不

良者も減つてき

ています。季節

の変わり目は体調を崩しやすいと言

いますが、皆様も健康には十分に気をつ

けて過ごしてい

きましょう。

3月には今年度最後のバイキングが

行なわれます。今回のバイキングでは

主食、主菜、汁物、副菜、デザートが

皆様からのセレクトメニューとなつて

おり、この記事が出る頃には、美味し

いでしょうか?

春といえば「桜」ですね!!お花見は

どうなっている事でしょう。



いのではないのでしょうか?

春には新しい仲間との出会いもあるかと思いますが、新しいきずなを今後とも宜しく願ひいたします。(松原)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

のぞみで初めて迎えた成人者は2名。矢萩裕樹さんとの場美紀さんです。

お2人ともとびつきりおしゃれをしていました!!なんと矢萩さんは袴姿。誰かが「時代劇の將軍みたいだなあ」。的場さんがつけていた真珠のネックレスは、お母様がご自身の成人式の際つけていらしたものだそうです。

そして、お2人にはたくさんのお祝いの言葉とプレゼントがありました。

母校

の先生方からのビデオメッセージ、のぞみからアルバム、先輩



方からのメッセージ、お花など。

のぞみでは式典のたびに、手作りの垂れ幕を披露しています。今回は、成人にちなんで先輩方のありがたひ(?!)一言カードで「20」という数字をつくりました。それは後日、お2人にメッセージブックに作り変えて進呈しました。

お2人へ:これから始まる人生がずっともつと楽しいものになりますように。そして、つらいことや悲しいことがあっても、お2人が乗り越えられますように。そのそばに「のぞみ」がいられたいです。(細野)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

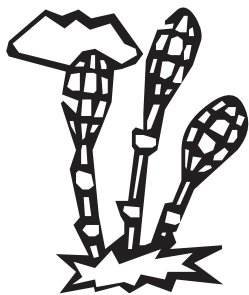
就労継続支援B型事業「軽作業・自転車室」では、障害者による地域緑化推進事業として、ガザニアの花弁の販売事業を行っています。ガザニアの花を道路の中央分離帯や路側帯、海岸線、公園等に植えることでCO₂の削減を目指し、住みよい環境づくりができるようにと考えています。

また、2月より、個々の利用者の方の能力を生かした何かができないかと思ひ、新しい挑戦を始めました。以前に大工の技術を持っていた利用者の方のいたので、先ずはテストを兼ねて他の利用者の方の自助具を作ってもらいました。ご本人の知識や技術を生

かし、今後も棚など色々な物を作ってもらいたいと思ひています。

以上、工賃確保の新しい取り組みを行う一方、自転車清掃場の作業改善にも取り組みを始めました。現在、自転車の水洗いを外で行っているのですが、冬は寒く夏は暑く、利用者の方にとって厳しい作業条件の中で行っていたいています。足立区の担当の方にも何度か現場を見ていただき、自転車の作業環境も改善できそうな目途が立ちました。早く、新しい環境で自転車作業ができるようになると思ひています。

(染谷)



神明福祉園だより

ご近所の庭先の梅が紅白きれいに咲いているのを見かけました。寒い日が続いていますが、着々と春は近づいているなと感じました。

2月福祉園では、今年利用者の戸澤衣理さんがめでたく成人式を迎えられました。利用者の皆さん、衣理さんにゆかりのある方々でささやかではあります、 「成人を祝う会」を1月7日に行いました。学校時代の先生がお祝いに駆けつけてくださったたり、事前にお借りした衣理さんの小さい頃からの写真をスライドにまとめて上映したり、終始なごやかに行われました。

2月にはグループ外出がありました。1グループは今話題の「ららぽーと新三郷」へ行きました。車の雑誌や大好きなアニメのCDなど思ひ思いの買物を楽しんだり、ゲームコーナーで一般のお客さんとレーシングゲームで対戦したりしました。

2グループは越谷の「レイクタウン」へ行ってきました。4グループに分けた中には、全員が男性利用者



になる班もありました。やはり男性。買物を楽しむというよりも「食」がメイン。昼食はカツカレー、ステーキなどを堪能。食後にはドーナツと「おいしい外出」になりました。



(山井)

神明デイサービスセンター だより

寒さも少しずつ緩み、各地で花の便りも聞かれる今日この頃ですが、神明デイサービスでは2月10日(水)・19日(金) 25日



(木)に大谷田公園に観梅外出に出かけました。曜日によっては予定していた日に雪が降って延期になったりしましたが、最終日は春を思わせる陽気の中、無事外出を終える事ができました。今年の梅は例年に比べると遅いのか、まだ蕾も多くありましたが、花の香りを嗅ぎつつ、隣のバーベキュー場が気になったりと、「花より団子」

の雰囲気もちらほら…。(笑)人によつては、「お酒もあるといいね。」など盛り上がりつつありました。次年度は外出活動を増やしていこうと計画していますので、いろいろな案がでてきそうですね。



さて、巷では冬季オリンピックで一喜一憂されたかと思いますが、デイサービスでも時期を同じくして地デジ対応テレビに移行しました。利用者の皆さんも連日迫力あるきれいな画像に声援を送っていました。精一杯頑張った選手の姿に力をもらった様子でした。これからのリハビリにも力が入る事でしょう。

また、3月には近くの「ゆうあいらんど さの」で、音楽講習会「リハビリターズ」の訪問発表がありました。去年は諸事情により中止になった催しなので、今年は皆さん普段以上に張り切って練習されています。初の試みとして、利用者と職員のコラボによる「南中ソーラン」も予定していますので、今年度を締めくくる意味でも、職員も頑張りたいと思っています。

今年度、何事もなくデイサービスの活動ができましたのも、利用者の皆さん・ご家族の御協力のおかげと職員一同感謝いたしております。ありがとうございました。次年度もよりよい活動ができるよう努力していきますので、よろしく願います。(倉成)

神明福祉作業所だより

早いもので、知的通所授産施設から就労継続支援B型事業(あおぞら)と生活介護事業(作業訓練型)(かりん)の多機能型事業所としてスタートして1年が過ぎようとしています。

昨年の今頃は、事業申請の書類作成、利用者との契約準備、作業・活動の環境整備と受入準備等々でとても目まぐるしい時間を送っていたはずなのですが、今は随分と前のできごとのような気がします。職員体制は厳しくなりましたが、業者からの仕事が目減りした年度当初の2、3ヶ月を除けば、仕事も活動も概ね順調に進んでいきます。これも利用者の皆さん、ご家族の方々、ボランティアの皆さん、そして職員の息の合ったチームプレイの賜物と感謝しています。

あおぞらは、これまで以上に仕事を重視し、より高い工賃を目指した甲斐あってそれなりの成果もありましたが、それ以上に仕事に対する姿勢や責任感が高まり、次のステップへ挑戦して「できた!」という達成感や充実

感を味わうことも多く、利用者1人ひとりの表情は昨年比で一段と引き締まり頼もしくなってきました。



全員集合!



でっかあーい、なす」収穫!

一方、かりんは、公園清掃や自転車清掃、農園など屋外の作業、散歩・スノーブレン・音楽ムーブメント等の新しい活動も取り入れ、作業と活動のバランスを試行してきました。更に昨年からはじめた『挽きたてコーヒー』の袋詰めと販売は、利用者の「やる気」を引き出す絶好の仕事となっています。神明施設から法人内施設へ、そして地域の皆様へとコーヒーの香りとともに人の輪が広がり、さらにもっと「あいのわ」が地域に根ざしていく事業を展開していきたいと思っています。

新体系2年目は、仕事や活動のみならず、1人ひとりの利用者が住みながらこの地で暮らし続けられるよう、暮らしの支援にも力を注いで参りたいと

思います。22 年度も神明福祉作業所を
どうぞよろしく願います。

(小川)

グループホームオハナだより

2 月は気温の変化が激しく体調管理
が難しい時期でしたが、みんな体調を
崩すことなく元気に過ごすことができ
ホッとしています。

ただ今度は花粉症の人には辛い時
期、何とか乗り切ってもらいたいもの
です。

“ガンバレ”

この冬寒いとお散歩にも行け
ず、そこで夕食
の調理に力を入
れました。週 1
回はみんなで美
味しい心のこも
った食事を作り
ました。すっか
り慣れて上手に
作っています。

バレンタイン

デーに渡すお菓
子作りもみな
で挑戦しまし
た。のびのびと
楽しそうにやっ
ていました。



3 月に入るとお別れの時期でもあり
ます。オハナでも 3 年間支援に入って
下さった支援員が卒業します。寂しく
も感じますが、新しい世界へ旅立つ支
援員に今までのことを振り返りながら
感謝の気持ちを込めて頑張つてね会を
開く予定です。

早いもので今年度も残り少なくなり
ました。この 1 年間を振り返ると色々
なことが思い浮かびますが、みんなが
健康で笑顔の絶えない 1 年間でしたの
でよい年になりました。

来年度も心豊かな気持ちでのんびり
と過ごしていきたいと思います。

この 1 年間多くの人達に支えられて
過ごしました。

色々と有難うございました。来年度
もどうぞ宜しくお願いします。(永山)

あいのわ支援センターだより

あいのわ支援センターでは、昨年 7
月から綾瀬あかしあ園で入浴サービ
スを行ってきました。

おかげさ
ま、入浴後にさ
っぱりして、に
っこりとした表
情で帰宅される
様子に家族の皆
さんからも喜ん
でいただしてい



ます。

2 月からは、入浴スタッフから、寒
くなったため入浴剤を入れたらどうか
という提案があり使用しています。初
日から好評で、当初は 1 種類用意して
いた入浴剤を、現在は 4 種類の入浴剤
の中から毎回リクエストで選んでいた
だき楽しんでいただいています。

こういったスタッフのちよつとした
心遣いから一歩一歩サービスの向上を
心がけた支援に携わっていかなければ
と思います。

(青木)

◆実績報告(1月～2月)

・居宅支援／移動支援(時間)

身体介護	176時間
重度訪問	96時間
移動支援	166.5時間
合計	438.5時間

・入浴サービス

	人数	実施日
男性	62人	13日
女性	40人	15日
合計	102人	28日



社会福祉法人あいのわ福祉会

第 9 期理事・監事・評議員 平成 22 年 1 月 1 日 平成 24 年 3 月 31 日 (敬称略)

◎第 9 期理事

岸本美恵子 (理事長)

鈴島妙子 (副理事長)

丸山亮子、平田伊三郎、勝又和夫

武内啓友、鈴木真理子

有馬妙子、秋山啓司

横内康行、渡邊正人、今野光信

【監事】佐久間庸夫、高島節郎

【相談役】長井喜三郎

◎第 9 期評議員

岸本美恵子、鈴島妙子

丸山亮子、平田伊三郎

勝又和夫、武内啓友

有馬妙子、秋山啓司

徳丸省一、中村富美子

小金井寛、並木みつ子

山野正雄、磯部幸子

磯前美和子、市川光江

富田潤子、吉本恵美子

斑目幸子、太田則子

末吉正和、小川弘子、萩原邦男

社会福祉法人あいのわ福祉会

第 5 期苦情解決第三者委員 平成 22 年 4 月 1 日 平成 24 年 3 月 31 日 (敬称略)

藤巻暎一、磯部幸子、神代和幸

成年後見制度講演会に学ぶ 3月15日（月）足立区庁舎

■成年後見制度

判断能力（契約を締結するための能力）の不十分な人達の権利を擁護する制度。

■対象者

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者、又、自閉症の人、事故による脳損傷、脳疾患による精神上の障がいのある人。

■成年後見制度の2類型

・法定後見制度、「後見」「保佐」「補助」

判断能力の不十分な人を、家庭裁判所の審判により支援者を選任し保護する。

・任意後見制度

判断能力が低下した後の財産管理や身上監護などに関する事務を信頼する人に委任して、家庭裁判所の選任する任意後見監督者の監督を受けながら遂行する。

判断能力が十分出来ない人へのサギ事件が、後を絶たない昨今、物忘れの多くなった自分と照らし合わせても、出来れば、1日でも長く、自分らしい生活を持続させたいというのが多くの人が持っている願望ではないかと思えます。

特に障がいのある子と脳疾患等で倒れた配偶者を抱えているご家庭では、それぞれのサービスを受けながらも、自分に何か起きたらという不安は、深刻で重いものがあります。

講演を聞く中で今は、何とか障がいのある子を支えていられても見られなくなった時に備えて、我が子との間に親と自らが選んだ代理人など複数の後見人契約を結んでおくことが大切と思いました。

又、多くの情報（事例）を学び、自分の家庭にとっては、どのような選択をすれば良いのか考えておくべきと。

（岸本記）

竹の塚あかしあ杜「なごみ」

（平成22年1月～2月）

短期入所事業利用状況

延べ利用人数	65名	内児童	7名
延べ利用日数	200泊	内児童	38泊

後援会だより （平成22年1月～2月） 敬称略、順不同

◎一般会員（1口3千円）

橋本めぐみ、上原茂紀、霜田文夫

◎寄付者

西澤歯科医院、西村文雄、渡辺和彦、藤巻暎一、磯部幸子

★多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付 有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。★

編集後記

年が明けたと思っただけにまたたく間に月日が流れ、時はまさに年度末。各施設では、1年間のまとめや次年度に向けての計画作りにと最も忙しい時期に入りましたね。加えて各施設とも次年度は諸般の事情で利用者が大幅に増えることが予想され、その対応にも追われているようです。施設側の工夫はもちろんのこと、利用者側も一人ひとりが状況の理解と納得、ゆずり合いの精神を旺盛に、希望者たちを暖かく迎え入れる姿勢が求められますね。

バンクーバーオリンピックが終了し、次はパリオリンピックが始まりました。連日の熱戦にハラハラドキドキされた方も多かったのではないのでしょうか。熱戦を通して感じたこと。それは心からの応援と多数のボランティアさんたち。どの選手も応援力のすごさを語り、大会を支えたボランティアさんたちの働きこそ金メダルに値すると大きな評価がなされていました。施設作りにおいても同じことがいえますね。大切な施設を今後も皆で応援し、ボランティアであふれる活気のあるものとなるよう更に頑張ってください。次年度も引き続きご愛読下さいますように。

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

1人でも多くの方々に賛同いただき、後援会へのご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで